

【資料編】

資料Ⅰ 生徒・保護者アンケート調査結果

資料Ⅱ 中学校対象アンケート調査結果

資料Ⅲ 学習サポートボランティアからの意見聴取結果

資料Ⅳ 企業関係者からの意見聴取結果

資料Ⅴ 中学校時代長期欠席していた生徒の追跡調査結果

資料Ⅰ 生徒・保護者アンケート調査結果

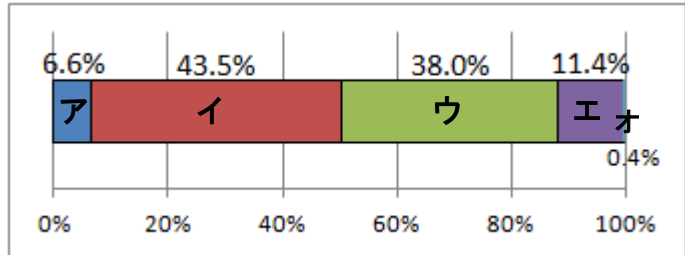
【実施方法】

- (1) 調査対象 泉高校及び天羽高校の全生徒及びその保護者
 (2) 実施時期 平成 26 年 10 月 1 日～31 日
 (3) 回答状況 生徒：694 名（調査対象 741 名、回収率 93.7%）
 保護者：396 名（調査対象 741 名、回収率 53.4%）

【集計結果・生徒分】

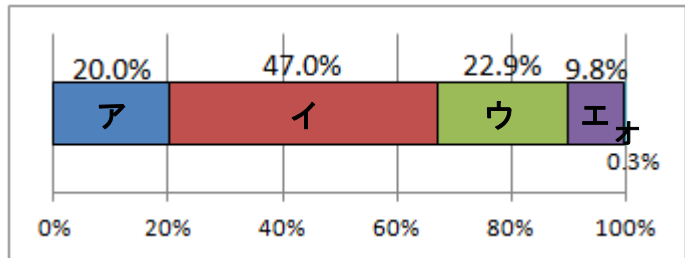
1 中学生時代の授業内容は理解できましたか。

- ア よく理解できた(6.6%)
 イ まあまあ理解できた(43.5%)
 ウ あまり理解できなかった(38.0%)
 エ 理解できなかった(11.4%)
 オ 無回答(0.4%)



2 受検前に地域連携アクティブスクールの特色について知っていましたか。

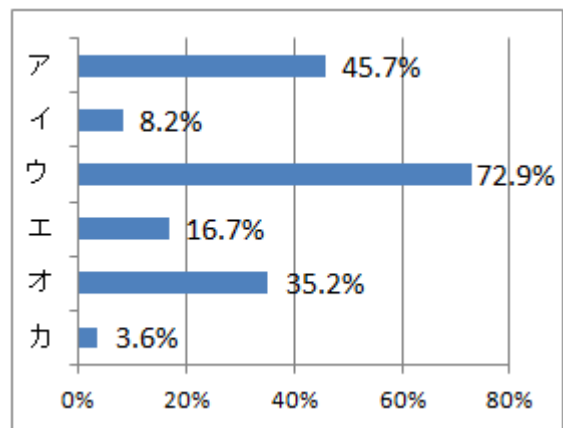
- ア 知っていた(20.0%)
 イ 少し知っていた(47.0%)
 ウ あまり知らなかった(22.9%)
 エ 知らなかった(9.8%)
 オ 無回答(0.3%)



3 受検前、地域連携アクティブスクールはどのような学校だと受け止めていましたか。(複数回答可)

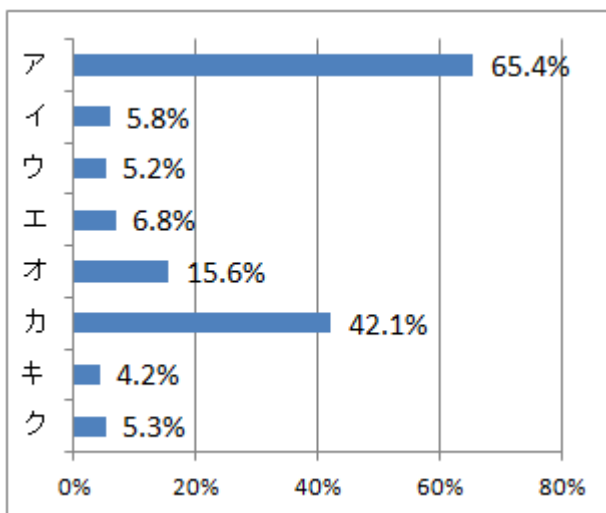
- ア 中学校で能力を発揮できなくても、高校では頑張ろうとする意欲を受け止めてくれる学校
 イ 独自の入学者選抜を実施する学校
 ウ 学び直しができる学校
 エ キャリア教育が充実している学校
 オ 地域と様々な連携を行っている学校
 カ その他

- ・少人数制の授業 ・規則が厳しい学校
- ・様々な行事がたくさんある、
- ・大学生と一緒に教えてくれる
- ・先生が生徒のことを思いやって相談に乗ってくれ、生徒の連帯感がある学校
- ・知らなかった



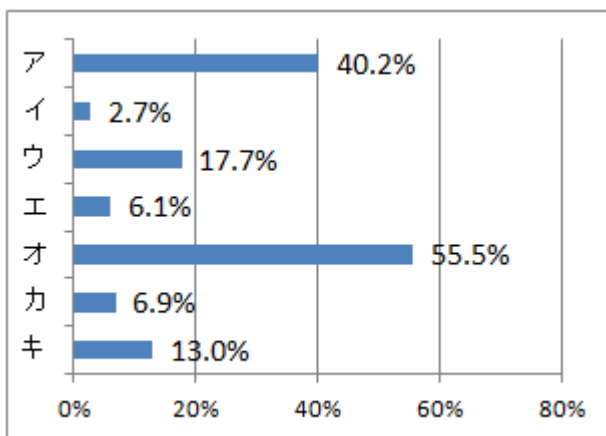
4 地域連携アクティブスクールのことにはどのように知りましたか。(複数回答可)

- ア 中学校の先生
- イ 塾
- ウ 友人
- エ 先輩
- オ 受験雑誌
- カ 高校からの情報
- キ 千葉県の広報誌やホームページ
- ク その他
 - ・家族 ・兄弟 ・姉妹
 - ・親 ・親の友人

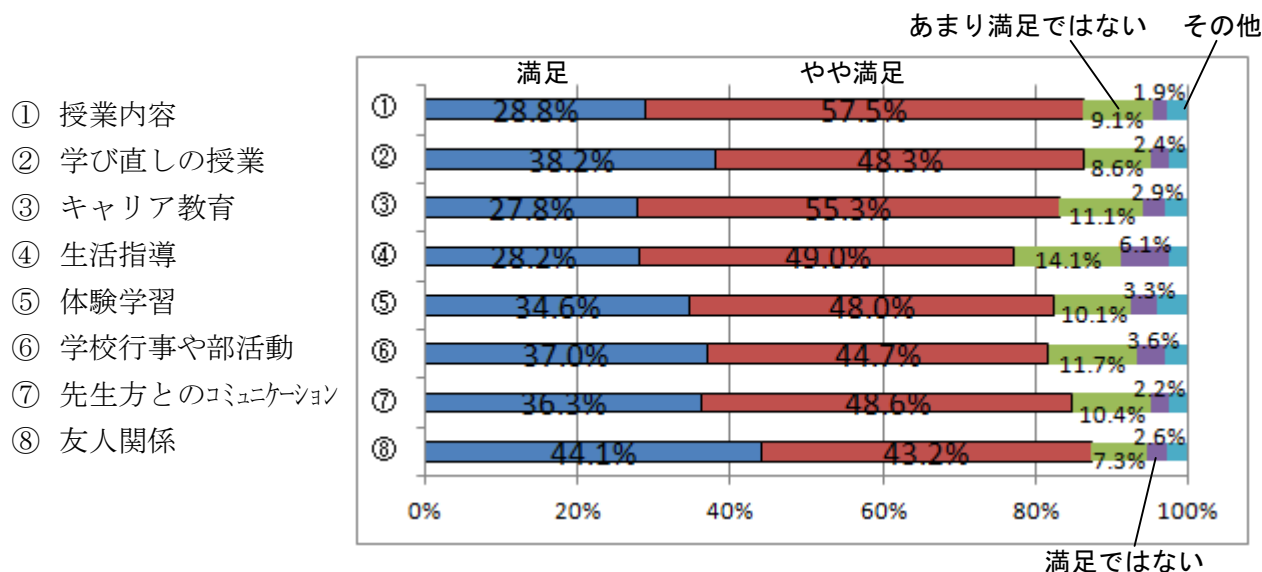


5 地域連携アクティブスクールを志願した理由は何ですか。(複数回答可)

- ア 中学校の先生からすすめられた
- イ 塾ですすめられた
- ウ 保護者からすすめられた
- エ 入学者選抜が他の高校と違う
- オ 学び直しの授業がある
- カ キャリア教育が充実している
- キ その他
 - ・自分の学力にあった
 - ・規則が厳しい学校だから
 - ・兄弟が在籍している (いた) から ・兄弟に勧められたから ・就職率が良いと聞いたから
 - ・中学校で出来なかったことをしたかったから ・他校が不合格だったから

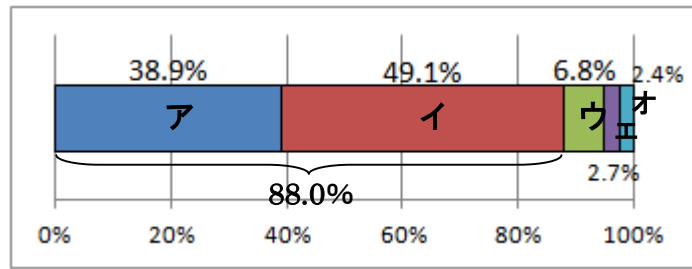


6 地域連携アクティブスクールでの学校生活について、どの程度満足していますか。



7 あなたは、地域連携アクティブスクールに入学して良かったですか。また、その理由は何ですか。

- ア 良かった (38.9%)
- イ まあまあ良かった (49.1%)
- ウ あまり良くなかった (6.8%)
- エ 良くなかった (2.7%)
- オ 無回答 (2.4%)



《主な理由》 ○：良かった、まあまあ良かった △：良くなかった、あまり良くなかった

(1) 授業・学び直し

- 中学校の時に出来なかった内容が、学び直しで出来るようになった。
- 中学校の内容から学び直しが出来て、中学校の時よりも点数が上がった。
- 学び直しをすることで、勉強の楽しさを知った。
- しっかり学び直しが出来るし、先生方が中学校の頃の自分たちをしっかり把握している。
- 先生が丁寧に（基礎から）教えてくれる。
- 先生が分かりやすく授業をしてくれる。
- 中学校では勉強がついていけなかったが、高校に入ってから授業についていけるようになった。
- 少人数授業がとても分かりやすくて良い。
- △ 授業が分かりづらい。
- △ 授業内容が簡単すぎる。
- △ 学び直しが緩い。

(2) 進路指導

- 生徒一人一人の進路について真剣に考えてくれるので、とても良いと思った。
- 将来は就職を考えていたので、進路指導がすごく良いと思った。
- 自分の将来に向き合う時間が1年の時からある。
- 様々な職業の人の話が聞けて勉強になった。
- インターンシップに行ってお社会勉強が出来る。
- △ 就職希望者に対する指導は手厚いが、進学希望者に対する指導が疎かになっている印象がある。

(3) 地域連携

- 地域の人とコミュニケーションがとれて楽しい。
- 地域の方々と触れ合う機会があり、とても良かった。
- 地域の人々がサポートしてくれる。
- 地域の方と交流する機会が増え、コミュニケーション能力を得ることが出来た。
- △ 地域連携とあるが、地域と連携している様子が見られない。

(4) 行事・体験学習

- 体験学習を多くやって、地域の人と関われるので良かった。
- 起業家プログラムや農業体験など、貴重な経験が出来たから。
- 農業体験などが楽しい。
- 自分たちで作った品物や植物が売れたときはとてもうれしかった。

(5) その他

- 面倒見の良い先生が多いから。
- 高校生活が楽しい。
- △ 他校とあまり変わらない。

8 自由記述 ○：肯定意見等 △：改善点等

(1) 授業・学び直し

- 先生方の教え方が分かりやすい。
- 生徒のペースに合わせた授業で、自分のペースで勉強が出来るので分かりやすい。
- 頑張り次第では自分の力が向上できるところが良い。分からないところは先生が丁寧に優しく教えてくれるので、勉強に対する意識が変わった。
- 学び直しが出来ることで大変助かっている。
- 学び直しの授業は分かりやすく、中学校の内容を復習できる良い機会だと思っているので満足している。
- 中学校の授業の復習の勉強をしてくれる。
- △ 通常の授業をもう少しゆっくり進めて欲しい。
- △ 学び直しの授業が雑で、学び直しが出来ていない。
- △ 学び直しはもっとしっかりと詳しくやり、予習と復習を出来るようにした方が良い。

(2) 進路

- 進路に関わる地域との連携はとても素晴らしく良いことだと感じた。
- △ キャリア教育について、就職にはとても力が入っている感じがするが、進学にはあまり力が入っていないように思える。
- △ 現状を維持しつつ、就職だけではなく進学にも強い学校になって欲しい。

(3) 地域連携

- 地域の人のお話がとても刺激になった。
- 地域の方と触れ合うことはとても大切なことだと思った。
- 地域の人たちと協力出来るのはとても良いと思う。
- 農業体験やマザー牧場での販売など、地域の方々と一体となってやっている。
- △ 地域連携している感じが全然ない。もっと地域の人と参加できる行事を作った方が良い。

(4) 行事・体験学習

- 体験学習が充実していて、他の高校では出来ないようなことも出来てとても良い。
- 行事が多く、楽しい学校生活を送れる学校である。
- △ 農業体験や校外学習がもっとやりたい。

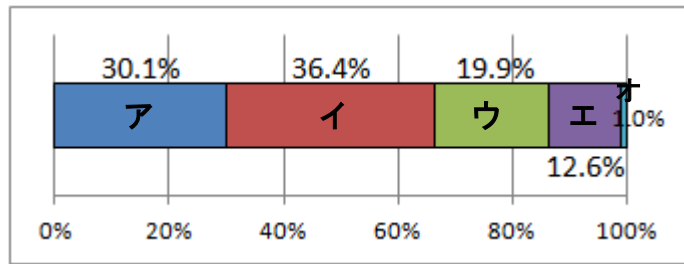
(5) その他

- この学校に入学して、毎日が楽しくなった。
- 今でも素敵な学校なので、それを持続して、次の世代にはより良い学校づくりを心がけて欲しい。
- 先生との距離が近く、すごく親身になってくれるので良い学校だと思う。生徒の努力をしっかりと見て認めてくれるので、この学校に入学して良かった。
- 地域連携アクティブスクールをもっと広めた方が良い。

【集計結果・保護者分】

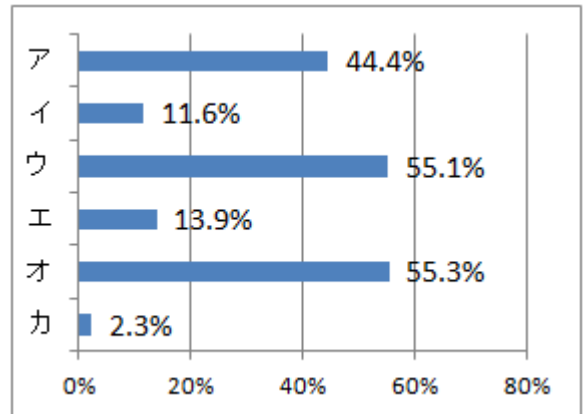
1 受検前に地域連携アクティブスクールの特色について知っていましたか。

- ア 知っていた (30.1%)
- イ 少しは知っていた (36.4%)
- ウ あまり知らなかった (19.9%)
- エ 知らなかった (12.6%)
- オ 無回答 (1.0%)



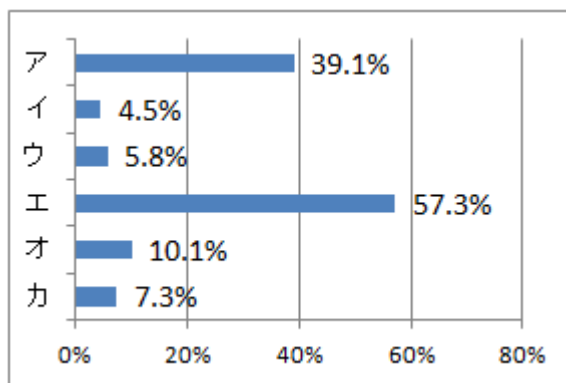
2 受検前、地域連携アクティブスクールはどのような学校だと受け止めていましたか。(複数回答可)

- ア 中学校で能力を発揮できなくても、高校では頑張ろうとする意欲を受け止めてくれる学校
- イ 独自の入学者選抜を実施する学校
- ウ 学び直しができる学校
- エ キャリア教育が充実している学校
- オ 地域と様々な連携を行っている学校
- カ その他
 - ・ 個々の個性に対応してもらえる学校
 - ・ やる気があれば、授業以外でも勉強を見てくれたりすると聞いていた。



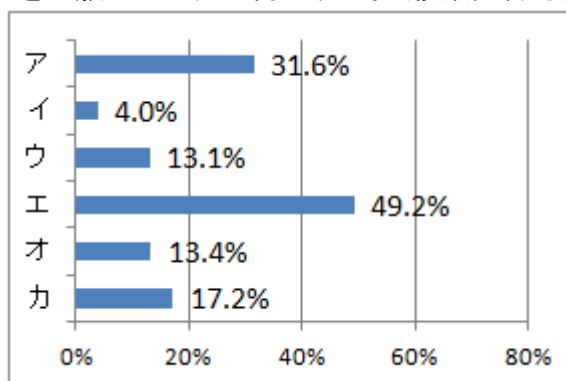
3 地域連携アクティブスクールのことはどのように知りましたか。(複数回答可)

- ア 中学校の先生
- イ 塾
- ウ 受験雑誌
- エ 高校からの情報
- オ 千葉県の広報誌やホームページ
- カ その他
 - ・ 読売新聞
 - ・ 知人

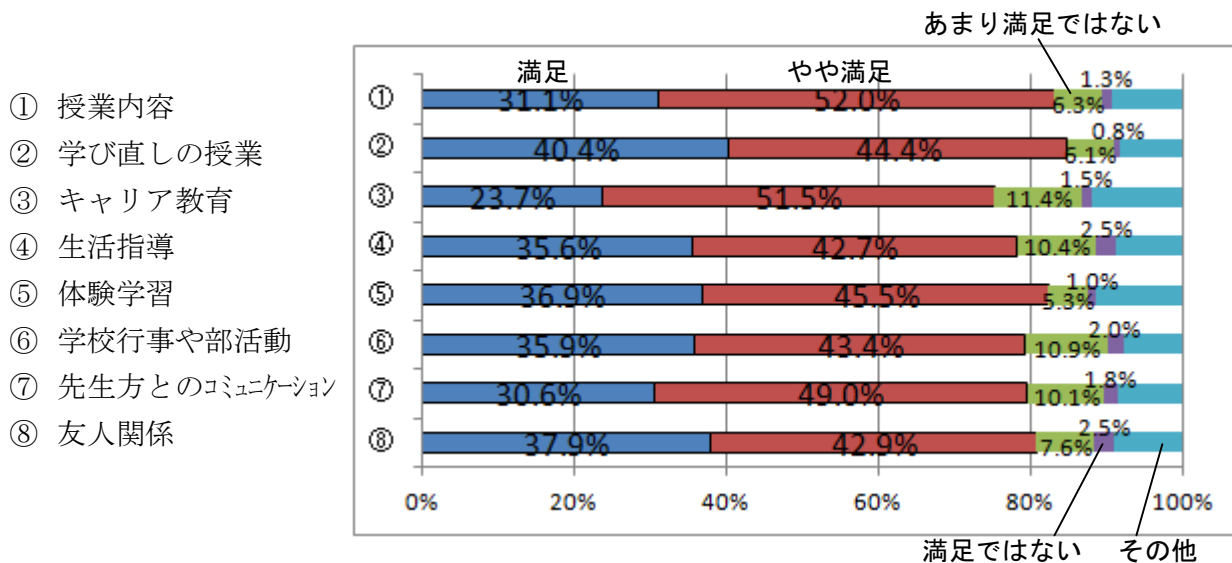


4 お子様が地域連携アクティブスクールを志願した理由は何ですか。(複数回答可)

- ア 中学校の先生からすすめられた
- イ 塾ですすめられた
- ウ 入学者選抜が他の高校と違う
- エ 学び直しの授業がある
- オ キャリア教育が充実している
- カ その他
 - ・ 学力的にあっている
 - ・ 通学に便利
 - ・ 志望校が不合格だった
 - ・ 希望する部活動がある
 - ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが配置されている

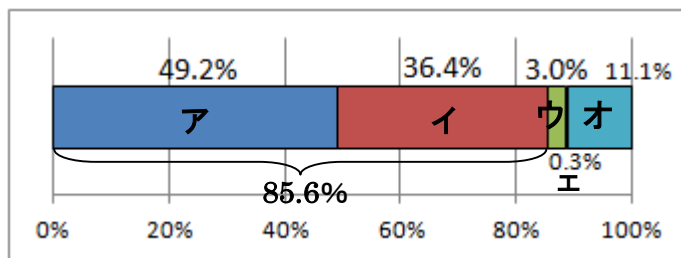


5 地域連携アクティブスクールでのお子様の学校生活について、どの程度満足していますか。



6 お子様が地域連携アクティブスクールに入学して良かったですか。また、その理由は何ですか。

- ア 良かった (49.2%)
- イ まあまあ良かった (36.4%)
- ウ あまり良くなかった (3.0%)
- エ 良くなかった (0.3%)
- オ 無回答 (11.1%)



《主な理由》 ○：良かった、まあまあ良かった △：良くなかった、あまり良くなかった

(1) 授業・学び直し

- 中学校で躓いた部分の学び直しの授業が出来るから。
- 学び直しの授業のおかげで、勉強に意欲と自信がついたと思う。
- 中学校の時より成績が上がり、中学校の時に苦手だった教科も分かりやすい授業で苦手意識が減ってきた。
- 中学校でよく分からずに終わってしまった勉強を、もう一度やることによって確実に身につけている。
- 中学校で分からなかった勉強が分かるようになったことで、勉強にも意欲的になったと思う。
- 中学校までの勉強内容は社会に出てからも必要だと考えている。そこをきちんと学び直させてくれるということは、子どもの先々のことを考えてくれる学校であり、ありがたい。
- 本人のペースに合っていて、先生方もとても良い教え方をしており、感謝の気持ちでいっぱい。
- 少人数の授業で、授業にゆとりを持ち、十分に生徒に目が届くようにし、進みもゆっくりで、子どもたちに授業が理解できるようにしていただいている。
- 勉強を詰め込むだけの学校ではなく、アクティブスクールならではの学習が、今後社会人となった時に大いに役立つ学習になっていると感じた。
- 中学校とは異なる学習環境での生活で、自分自身の意思と意欲を持って学習するようになり、自ら考え主体性を持って行動するようになった。
- △ 授業が受験向きではないこと。

(2) 進路指導

- 進路指導が充実していて安心できる。
- 職場体験が良かった。
- 勉強だけではなく、色々な方と接し、これから社会に出て役に立つことを体験できている。

(3) 地域連携

- 地域の方々との助け合いを覚えた。
- 地域との関わりを持つのは大事なことで、それに学校全体で向き合っていて対応しているのは素晴らしい。

(4) 行事・体験学習

- 体験学習など他校ではない授業があつて、新鮮な気持ちで学べる。
- 農業体験が良いと思う。
- インターンシップなどで色々な体験が出来るのを楽しみにしていて、体験したことや学んだことを話すようになったこと。

(5) その他

- 勉強以外でも人間性や規律などを指導していただき、成長していると感じている。
- 毎日、生き生きとした充実した顔で学校に通っており、その姿を見て親としてもうれしく思っている。
- 先生方とのコミュニケーションが良くとれて、先生方も生徒をよく見ている。
- 先生方の何にでも一生懸命取り組む姿を見て、子どもも刺激されている。
- 先生との信頼関係が築けているように感じる。
- 登下校の様子を見ることがあるが、先生方が校門で指導している姿を拝見して、毎日安心して学校へ送り出している。
- △ 世間からのイメージや評判が良くない。

7 自由記述 ○：肯定意見等 △：改善点等

(1) 授業・学び直し

- 学習面で充実している。
- 中学校では、教科によってはついて行くことが出来ず苦勞していたが、今では良い点数が取れるので、自信につながっている。
- 学び直しの授業、少人数の授業、先生方の分かりやすい授業がとても良くて、中学校の時よりも勉強好きになった。
- 授業参観で見た国語の授業は、少人数での授業で少し驚いたが、子どもたちの発言が多いのは少人数だからかと思いい良かった。
- △ 社会で通用する程度の最低限の学力の強化。

(2) 進路指導

- △ 資格取得を積極的に進めて欲しい。

(3) 地域連携

- 地域の行事に参加させていただいて、子どもにとって良い経験になった。
- △ 地域連携の良いところをもっと表にアピール出来たら、さらに評価されると思う。
- △ これまで以上に農作業などで地域の方々と触れ合う機会を設けていただき、年配の方々から色々なことを学んで欲しい。

(4) 行事・体験学習

- 学校行事にPTAが多数参加するとともに地域ぐるみで応援し、子どもたちも期待に応えようと頑張っている。
- 机での勉強だけではなく、外の世界で直接学べる、夢を現実に近づける場があることは、とても良いことだと思う。
- △ バザーを増やし、農産物を売る。
- △ もっと体験授業を増やすべき。

(5) その他

- 高校で、自分の居場所を見つけることが出来て、親としてもとてもうれしく思っている。
- 先生方とのコミュニケーションが良い。
- 生徒の個性を受け止めてくれている感じがする。この学校に通学できて良かったと思っている。
- 挨拶、生徒を見るまなざし、話し方、勉強の教え方、学校行事への情熱など、先生方の何事にも一生懸命な姿、心から生徒を思ってくくださる様子に、子ども共々感謝している。
- このような学校がもっとあれば良いのではないかと思う。
- △ あまり他の学校との違いを感じない。
- △ アクティブスクールという名称が、高校の目指すものを表すには、分かりにくいと思う。

資料Ⅱ 中学校対象アンケート調査結果

【実施状況】

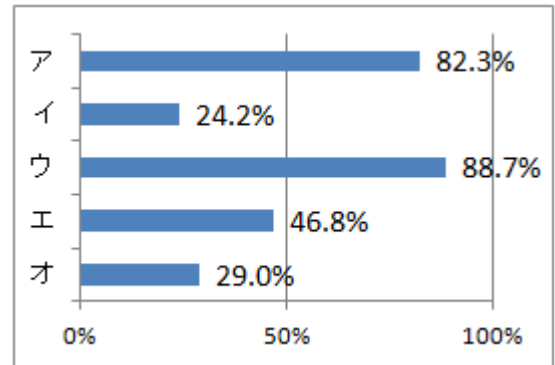
- (1) 調査対象 千葉市（泉高校）、富津市・君津市・木更津市・袖ケ浦市（天羽高校）に所在する中学校
- (2) 調査方法 各地区で実施される進路指導連絡協議会の会議等で調査を依頼
- (3) 実施時期 千葉市：平成 26 年 9 月 18 日～30 日
富津市・君津市・木更津市・袖ケ浦市：平成 26 年 10 月 10 日～24 日
- (4) 回答状況 回答数 62 名（60 校／90 校）

【集計結果】

1 次のうち、地域連携アクティブスクールの特色として、良いと思うものはどれですか。

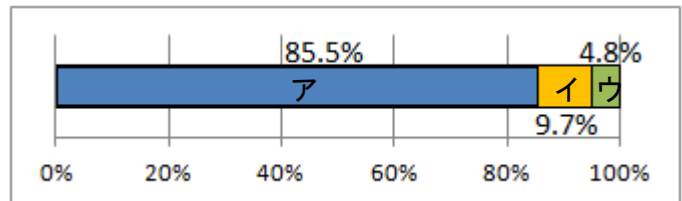
（複数回答可）

- ア 中学校で能力を発揮できなくても、高校では頑張ろうとする意欲を受け止めてくれる学校
- イ 独自の入学者選抜を実施する学校
- ウ 学び直しができる(学び直しの授業がある)学校
- エ キャリア教育（進路指導）が充実している学校
- オ 地域と様々な連携を行っている学校



2 地域連携アクティブスクールでは、「人間性や学ぶ意欲を重視する独自の入学者選抜」を実施していますが、どのようにお考えですか。

- ア 現在のままでよい(85.5%)
- イ 工夫するべきである(9.7%)
- ウ 無回答(4.8%)

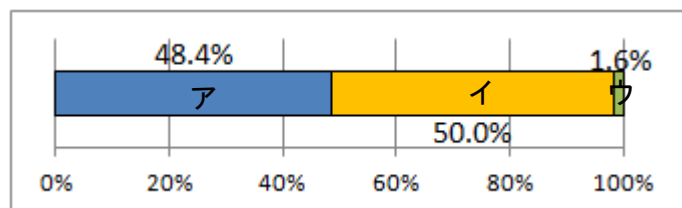


「イ 工夫するべきである」とした主な意見

- ・問題をもっとやさしくしてほしい。(前期、独自問題にしてほしい。)
- ・志願理由書はなくして良い。
- ・具体的に、保護者や生徒にどのように入試をすすめて良いか分からないので、基準を明確にするべきだと思う。
- ・二期選抜は口頭試問（天羽高校）なので、学ぶ意欲を重視するという面でも基礎・基本的な独自問題を行う方が良いと思う。
- ・自由選択の3教科入試などにしてはどうか。他の生徒とあまりにも違う入試や国数英というしぼりは工夫の余地があるのではないか。

3 平成 27 年度に、地域連携アクティブスクールは泉高校、船橋古和釜高校、流山北高校、天羽高校の 4 校への設置となりますが、今後、設置校は増やすべきだと思いますか。

- ア 増やすべきである(48.4%)
- イ 増やす必要はない(50.0%)
- ウ 無回答(1.6%)



「ア 増やすべきである」とした望ましい校数

校数	6校	8校	9校	10校	20校
回答数	3	3	10	7	1

- ・各学区に1校程度が望ましい。
- ・各地区に1～2校
- ・千葉市で2～3校、3～4校
- ・県南に設置しても良いのではないかな。

4 地域連携アクティブスクールに期待することや、より魅力ある学校となるために改善した方が良いと思うことなど、自由にお書きください。(主な意見)

(1) 理念等について

- ・アクティブスクールで救われる生徒は多くいると思う。今後ともニーズに対応したシステムで展開していただきたい。
- ・中学校卒業後の就職は難しく、ほとんどの生徒が高校に進学する現状を考えると、アクティブスクールの存在は大きいと思う。実際に通っている子どもたちを見ると、とても生き生きとして、楽しく目的を持って学校に行っているようである。
- ・学力も大事だが、自己肯定感を高め、地域で活躍する意欲を持つ人を育ててほしい。
- ・生徒指導をしっかり行い、「学び直し」を確実に行き、やる気のある生徒に自信を持たせ、実力をつけ卒業させてほしい。
- ・もっと他の学校とは違う具体的な施策を考えたらどうか。

(2) 学び直しについて

- ・少人数での学習で学び直しに力を入れるなど、ステップアップの取組は生徒の力になっていくと感じた。
- ・中学で学力不振であった生徒への丁寧な学び直しは大変魅力的である。今後も、より充実していただきたい。
- ・今、格差社会のため、低学力の生徒はお金がなく、私立高校への進学が厳しいことが多い。そのため、公立高校でアクティブスクールのような学校が増えれば、丁寧に学び直しをしていき、自立していける生徒も増えるのではないかなと思う。
- ・中学校で能力を発揮できなかった生徒が、意欲的に学び直しができるよう期待する。自分に少しでも自信が持て、楽しく高校生活が送れる生徒になってくれるよう期待している。
- ・学び直しの時間を増やして、3年間学習意欲を持続できる体制づくりを、さらに図っていただけたらと考える。
- ・生徒の興味・関心が引き出せるような、希望が持てるような学習内容を取り入れられると良いと思う。

(3) キャリア教育（進路指導）について

- ・地域と連携し、キャリア教育を行っていることで、生徒の心が育っているように思った。
- ・県内大手製造業の求人を増やし、「就職しやすい普通科」を目指してほしい。工業高校並の求人倍率になれば、「正社員で就職したいが工業・商業の勉強には興味がない」生徒のニーズにも応えられる。このような生徒は、成績の中の上くらいまで幅広く存在するので、中堅校にこそ魅力あるアクティブスクールの可能性があるのではないかなと思う。

- ・キャリア教育の推進をうたっているが、その実態がもう少し地域や中学校に見えてくると良いと思う。地域連携のインターンシップの一層の充実拡大に期待する。
 - ・手に職をつけるような、専門学科とは別のマイスターのような方向性を持ってないか。
 - ・立派な職業人を育ててほしい。
 - ・多くの生徒が高校を卒業後、就職したり専門学校へ進むと思われるので、キャリア教育の充実をさらに図り、インターンシップ等で企業とのつながりを深め、就職面でメリットとなるようなことがあると良いと思う。
- (4) 地域連携について
- ・地域の学校として多方面と連携して様々な取組をしているので、魅力的だと思う。
 - ・地域との交流を活発化し、地元に着した学校づくりを目指してほしい。
 - ・地域との連携の良さが分かりやすく伝わるアピールをお願いしたい。
 - ・地域との連携が、教育面だけでなく、地域の祭りやいろいろな行事、または生徒の卒業後の進路等に密接に関わると良いのではないかと思う。
 - ・社会に貢献できる生徒を育成する。ボランティア活動を充実させる。
- (5) 広報について
- ・アクティブスクールの利点をアピールして、入学希望者が増えるように、いろいろな場面で宣伝（生徒向け、職員向けとも）するのが良いのではないかと思う。
 - ・高校の説明会や体験学習ができる機会を増やし、生徒が直接体験できる機会を増やしてほしい。
 - ・広報活動に、さらに力を入れたらいいかと思う。既に様々なことを公開しているのであれば、何を見れば知ることができるかを広く伝えてほしい。
- (6) 新たな設置について
- ・9学区あるので各学区1校はほしい。
 - ・交通の便の良い学校をアクティブスクールとして増やしてほしい。
 - ・アクティブスクールが必要な中学生は多くいるので、もう少し通いやすい地域にも設置し、前向きに利用できるようになると良い。
 - ・中学校で不登校だった生徒が、高校では休まず登校し、生き生きと活動している、そんなチャンスを与えてくれる学校がもう少しあったらと思う。
- (7) その他の意見
- ・生徒の様子が落ち着いている感じを受け、先生方の尽力に感謝している。
 - ・学力が高い学校でも、こういった取組をすることは大切なのではないか。
 - ・施設や環境整備等の充実、教員の増置。
 - ・何とんでも指導者をどれだけ増やせるか（予算確保）。予算確保ができない中で魅力ある学校づくりは現実的に難しい。

資料Ⅲ 学習サポートボランティアからの意見聴取結果

地域連携アクティブスクールでは、近隣の大学（東京情報大学、清和大学）との連携により、将来教職を目指す学生を「学習サポートボランティア」として両校に派遣していただき、学び直しなどの授業において、担当教員の補助として生徒の質問に対応するなど、きめ細かい学習指導を実施しています。

今回、この制度の実施状況等について検証するため、ボランティアとして参加した大学生から意見聴取を実施しました。（主な意見は以下のとおり）

1 学習サポートボランティアに参加して良かったこと

- 学校現場に入ることができて、生徒の実態や授業の進め方を学ぶことができた。
- 先生方が生徒にどのような指導・接し方をしているかを間近で見ることができて、とても参考になった。
- 学生時代には分からなかった先生方の動きなどを知ることができて良かった。
- 教育環境を肌で感じることができた。
- 生徒に教えるという貴重な経験ができた。
- 生徒との関わりを通して、生徒との接し方が少しだけ分かった。
- 実際に学校現場に入り、授業に参加して、現在の高等学校の雰囲気味わうことができた。
- 参加する前は人前で発表することが苦手だったが、参加したことにより人前で発表することが増え、苦手を克服することができた。
- 教育者を目指す立場として心構えができた。先生と呼ばれてとれもうれしく、頑張ろうと思った。
- 大人と子どもの間という難しい年代の生徒たちと触れ合うことができて、本当に貴重な良い経験を積むことができた。

2 学習サポートボランティアに参加してやりづらかったことや困ったこと

- 授業の範囲を知らされていなかったなので、教えるまでに時間がかかってしまった。
- 生徒とのコミュニケーションをとるのが難しく、慣れるまで時間がかかった。
- 大学や高校の先生から「積極的にたくさんの生徒と話し、コミュニケーションをとってください」と言われたが、何もない状態からいきなり生徒に話しかけるということは難しかった。
- 授業に参加した際に、生徒一人一人の顔と名前を一致させるのが難しかった。
- ただ「サポートしてくれ」というだけでは何をして良いのか分からず苦勞した。
- 授業や学習支援の流れが分からず、どうして良いか分からなかった。
- 主教員が授業指導、副教員が生徒指導をしていたので、ボランティアのやることのない授業があった。
- 授業によっては、学習サポートボランティアを必要としない授業展開をしていることがあった。
- 教科担当の教員とのコミュニケーション不足があり、答え合わせのプリント配付などで連携がとれていない部分があった。

3 学習サポートボランティアの活動について、改善したら良いと思うこと

- 初めて参加するボランティアには、どのように生徒と接して良いか分からないので、あらかじめ「どのようにやってほしい」と言ってもらいたい。
- 自主的に動かなければいけないのは分かるが、初めての授業で何をして良いのか分からないときは指示していただきたい。
- 先生との事前打ち合わせがあると良い。
- 「生徒のサポートをしてほしい」というだけでは、どうして良いか分からないので、担当の先生から仕事や今の時間にやってほしいことなどを指示してもらい、生徒たちと接する時間を増やしてほしい。
- 配属される授業の内容（せめて教科書のページ）をあらかじめ教えてもらえると予習ができるので検討してもらいたい。
- 授業で使うプリントを事前にもらいたい。
- 出席をとらせてもらうことにより、生徒の顔と名前が一致できたのではないかと思う。
- 生徒とのコミュニケーションのために、自己紹介の時間を設けてほしい。
- 授業外の実習などにも参加する機会を設け、生徒とより関われる機会があれば良いと思う。
- ボランティアと生徒の交流の場がもう少しほしい。
- 同一のクラスを担当することが大切だと思う。
- 現在週1回なので、もう少し回数を増やしても良いと思った。

【参考】大学からの意見

1 学習サポートボランティアに参加させて良かったこと

- 教育実習前に高校生の学習状況や生活の様子、高校側の指導体制など、高校の指導に触れることができた。
- 指導者側として、高校生に接するという体験ができた。
- 継続的に学校現場に関わる機会を得て、学生たちは実際に生徒たちと関わることで、教えることの難しさ、そのために工夫が必要なこと、伝わった時の達成感など多くの経験を積むことができた。

2 学習サポートボランティアの活動について、改善したら良いと思うこと

- ステップアップ（学び直し）の授業はドリル的な内容なので、学生も生徒への学習支援がしやすく、双方にとって効果的だったが、正規の授業についてはどのようにサポートして良いか分からず、教室の後方で見学しているような授業も見られた。教科によっては学生の出番を積極的に作っている先生もいたが、教科の先生との打ち合わせを密にし、担当の先生から具体的な支援内容を明確に示してもらえると学生も活動しやすく、より効果的な学習サポートができると思う。
- 正規の授業では学生が遠慮がちになってしまうので、授業担当の先生には積極的に学生を活用してもらえると学生も動きやすくなり、より効果的な関わりが可能になると思われる。

資料Ⅳ 企業関係者（インターンシップ協力企業）からの意見聴取結果

地域連携アクティブスクールでは、実践的なキャリア教育の一環として、学校周辺に所在する企業に御協力いただき**インターンシップ（就業体験）**を実施しています。

今回、インターンシップの実施状況やキャリア教育の在り方等について検証するため、インターンシップに御協力いただいている企業からの意見聴取を実施しました。（主な意見は以下のとおり）

1 インターンシップについて

- インターンシップは、将来の人材を育成するという意味でマイナス面はない。会社の年間事業として計画化しており、今後も受け入れる方針である。
- 生徒が（介護施設に）入ることによって、高齢者の刺激になり、異世代の交流が図れる。介護の仕事内容が学べるので、社会人となるためのインターンシップは有効である。
- 中学生の職場体験とは違い、進路選択について前向きに取り組んでいる姿勢が感じられた。
- インターンシップは、生徒にとって大変良い経験だと思う。
- インターンシップは、社内の社員教育の一環としてとらえている。生徒を迎えるに当たり、社員一人一人に役割を持たせることで、考えるきっかけをいただいている。
- まじめに明るく取り組む姿は、私たち保育士も刺激を受けた。
- 自分の判断だけで行動したり、勝手に休憩したりすることがある。次に何をやるのか分からないのであれば、聞いてほしい。

2 人材育成に関する要望

- 時代の流れもあり、(最近の高校生は) 忍耐力がなく打たれ弱い面があるように思われる。心身ともに健康で、意志の強い人材が求められている。
- 基本は挨拶がしっかり出来ることである。職員同士や利用者との意思疎通を図るためのコミュニケーション能力が必要である。また、高齢者に対する敬意と思いやりの心を持ってほしい。
- (当社は) 客と接する場所なので、従業員に対しても心をこめた挨拶の徹底が必要である。
- 学生らしい明るさや社会に出て大切な礼儀正しい挨拶などが身につけていると良いと思う。
- 元気な挨拶や時間厳守、提出期限の厳守、メモをとる習慣、秘書検定3級程度の一般的なマナー知識の取得など、基本的なことを身につけておくことが就職活動や就業時に役立つ。
- 生徒を育成する上で精神的な強さと基礎学力を高めてもらいたい。(当社での) 採用は、学科だけではなく様々な要件を考慮して行うが、入社後、数学の小数点以下の計算や三角係数が仕事上必要となる。また、国語についても国家資格の受験や昇進試験の小論文、業務報告書等で必要となるので常用漢字は書けるようにしてほしい。
- 働くことの楽しさを指導してもらいたい。
- 指導しているつもりでも、「でも・・・」と言われることが多い。とりあえず人の話を受け入れることも大事だと教えてもらいたい。

3 その他地域との連携の在り方など

- 本年度、ボランティア生徒や施設見学を受け入れたが、他の交流の機会があれば積極的に行いたい。

資料V 中学校時代長期欠席していた生徒の追跡調査

2校の生徒のうち中学校時代に長期欠席（年間30日以上欠席）の経験のある生徒の人数は86名（A高校全校44名、B高校全校42名）であり、「これまで十分に力を発揮することのできなかった生徒」が多く在籍していることがわかります。これら生徒の高校進学後の中途退学（以下、中退とする）または転学及び欠席状況の相関について調査を行いました。

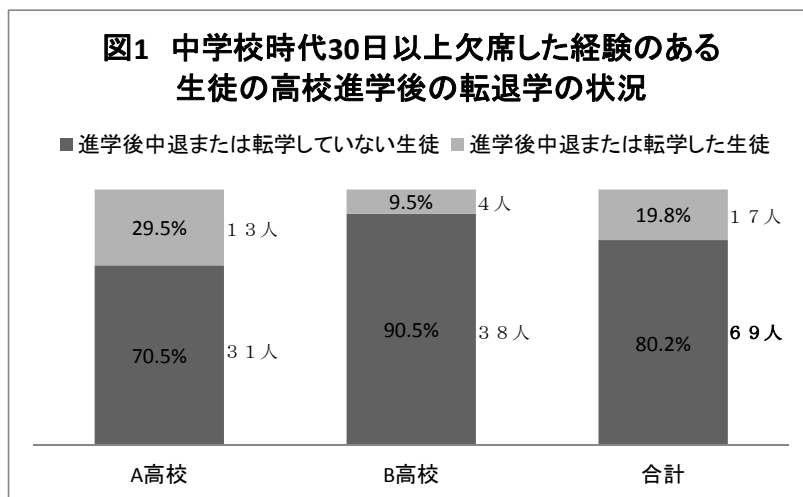
【実施状況】

- (1) 調査対象 平成24～26年度に入学した生徒のうち、中学校時代に年間30日以上
長期欠席をした経験がある生徒
- (2) 調査方法 高校進学後の中退、転学の時期と欠席日数について各高校を調査
- (3) 実施時期 平成26年12月

【結果と考察】

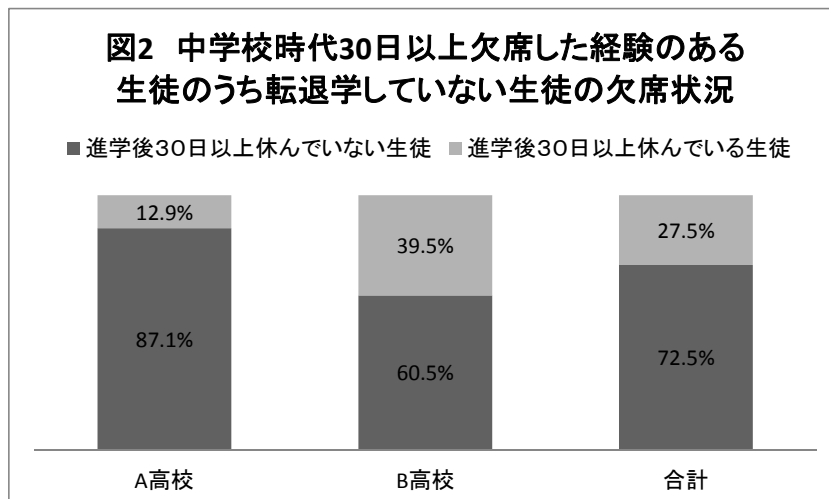
1 転退学の状況

図1より、長期欠席を経験しても、高校進学後の中退または転学せずに在籍している生徒が多いことがわかります。



2 欠席状況

図2より、高校進学後、30日以上長期にわたる欠席をしていない生徒は7割以上であることがわかります。以上のことより、長期欠席の経験があっても、入学後の生活状況が好転している傾向にあると言えます。



3 年間欠席日数

さらに図3より、長期欠席を経験しても、進学後は30%以上が欠席10日以内であり、皆勤者も約2割を超えていることがわかります。

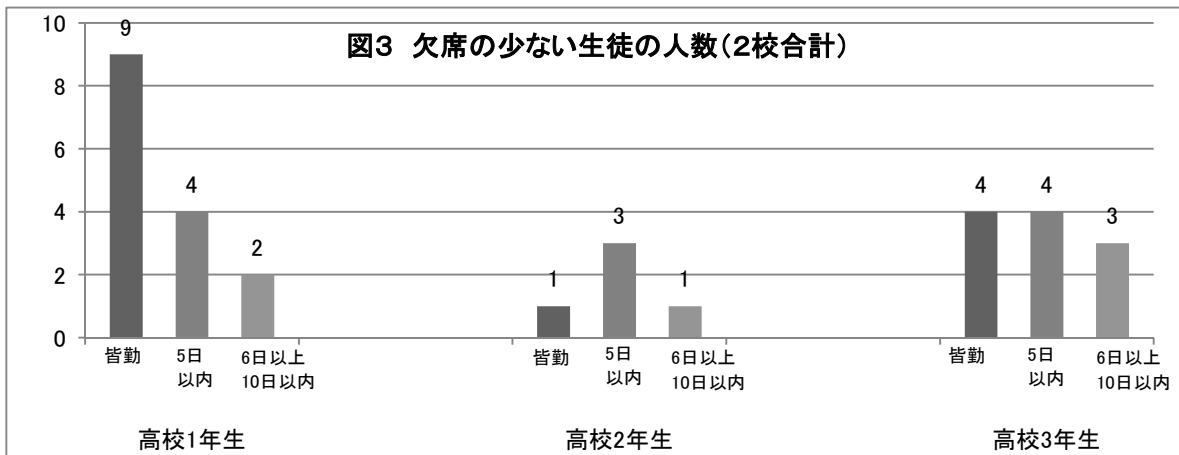
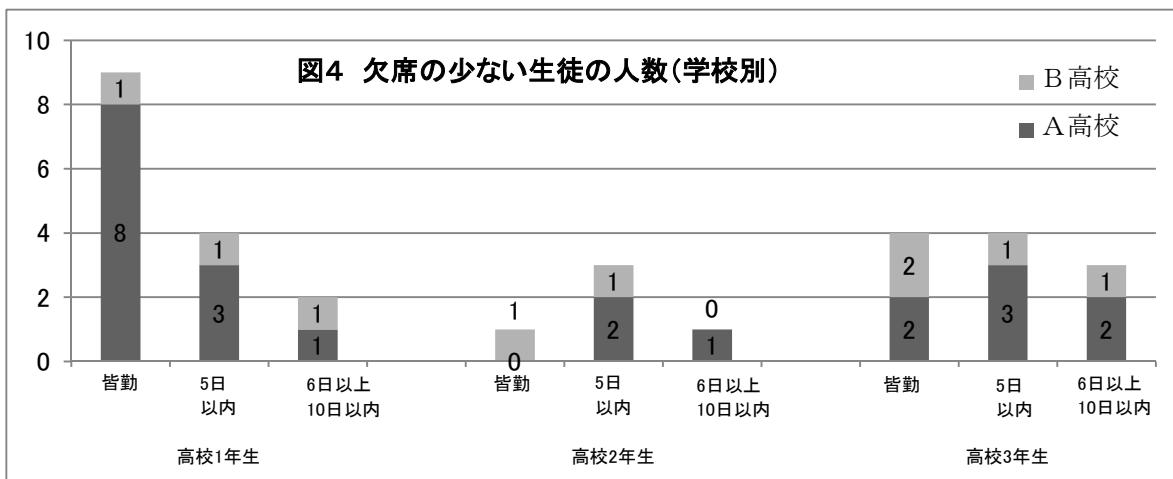


図4は図3の結果を学校別に算出しておいたものです。1年生に注目すると、A高校については8名、B高校については各学年に1名の生徒が、皆勤です。



4 長期欠席者数及び転退学者数(学年別)

図5より、長期欠席者や転退学者数は、2年時に多くなっていることがわかります。

